cisco.



Cisco Secure Email Gateway および Cisco Secure Email and Web Manager スマートライセンシング導入ガイド

最終更新: 2025年3月25日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー http://www.cisco.com/jp お問い合わせ先:シスココンタクトセンター 0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む) 電話受付時間:平日10:00~12:00、13:00~17:00 http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/ 【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ド キュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更され ている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照くだ さい。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



第1章

スマート ソフトウェア ライセンシング 1 はじめに 1 Smart Licensing の導入モード 2 スマートアカウントの作成 3 Cisco Smart Software Manager 4 多様なユーザーに対応したスマートライセンス 10 スマート ソフトウェア ライセンシング:新規ユーザー 13 クラシックライセンスからスマート ソフトウェア ライセンシングへの移行:既存ユーザー 13 エアギャップモードでのスマート ソフトウェア ライセンシング:新規ユーザー 14 エアギャップモードでのスマート ソフトウェア ライセンシング:既存ユーザー 14 エアギャップモードで Cisco Secure Email Gateway を登録するための VLN、証明書、および キーの詳細の取得と使用 15 トークンの作成 16 スマート ソフトウェア ライセンシングのイネーブル化 17 Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェイの登録 18 ライセンスの要求 19 Cisco Smart Software Manager からの電子メールゲートウェイの登録解除 20 Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェイの再登録 20 転送設定の変更 21 認証と証明書の更新 21 機能ライセンスの予約 21 ライセンス予約の有効化 22 ライセンス予約の登録 23 ライセンス予約の更新 24

ライセンス予約の削除 26
ライセンス予約の無効化 27
アラート 28
スマートエージェントの更新 29
クラスタモードでのスマートライセンス 29

クラスタモードでのライセンス予約の有効化 30

クラスタモードでのライセンス予約の無効化 31

参照 32



スマート ソフトウェア ライセンシング

- ・はじめに (1ページ)
- Smart Licensing の導入モード (2ページ)
- •スマートアカウントの作成 (3ページ)
- Cisco Smart Software Manager $(4 \sim :)$
- ・多様なユーザーに対応したスマートライセンス (10ページ)
- エアギャップモードで Cisco Secure Email Gateway を登録するための VLN、証明書、およびキーの詳細の取得と使用 (15ページ)
- トークンの作成(16ページ)
- •スマート ソフトウェア ライセンシングのイネーブル化 (17ページ)
- Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェイの登録 (18ページ)
- ライセンスの要求(19ページ)
- Cisco Smart Software Manager からの電子メールゲートウェイの登録解除 (20ページ)
- Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェイの再登録 (20ページ)
- 転送設定の変更 (21ページ)
- 認証と証明書の更新 (21 ページ)
- •機能ライセンスの予約 (21ページ)
- アラート (28ページ)
- •スマートエージェントの更新 (29ページ)
- クラスタモードでのスマートライセンス (29ページ)
- •参照 (32ページ)

はじめに

シスコのスマートライセンシングは、シスコポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェ アをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンスモデルです。また、 これは安全です。ユーザーがアクセスできるものを制御できます。スマートライセンスを使用 すると、次のことが可能になります。

・簡単なアクティベーション:スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェア ライセンスのプールを確立します。PAK(製品アクティベーションキー)は不要です。

- 管理の統合: My Cisco Entitlements (MCE) は、使いやすいポータルですべてのシスコ製 品とサービスの完全なビューを提供します。
- ライセンスの柔軟性:ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。

スマートライセンスを使用するには、まず Cisco Software Central でスマートアカウントを設定 する必要があります(https://software.cisco.com/)。シスコのライセンスの詳細な概要について は、『https://cisco.com/go/licensingguide』[英語]を参照してください。

すべてのスマート ソフトウェア ライセンス製品は、シングルトークンで設定および有効化す るときに自己登録できるため、Web サイトにアクセスして PAK 製品の後に製品を登録する必 要がありません。PAK またはライセンス ファイルを使用する代わりに、スマート ソフトウェ ア ライセンスでは、柔軟かつ自動化された方法で会社全体で使用できるソフトウェア ライセ ンスまたはエンタイトルメントのプールを設定します。プーリングによりライセンスを再ホス トする必要がなくなるため、RMA で特に役立ちます。Cisco Smart Software Manager で会社全 体のライセンス導入を簡単かつ迅速に自己管理できます。

標準製品、標準ライセンスプラットフォーム、および柔軟な契約を通じて、シスコソフトウェ アによるシンプルかつ生産性の高い経験が得られます。

Smart Licensing の導入モード

セキュリティは多くの顧客にとって懸念事項です。以下のオプションは、最も使いやすいもの から最も安全性が高いものの順に示しています。

- •1番めのオプションは、HTTPSを使用して、インターネット上でデバイスから直接クラウ ドサーバに使用状況を転送することです。
- •2 番めのオプションは、Smart Call Home Transport Gateway または入手が容易な HTTPS プロキシ (Apache など) といった HTTPS プロキシを介して、インターネット上でクラウド サーバにファイルを直接転送することです。
- 3番めのオプションでは、「Cisco Smart Software Satellite」というカスタマー内部収集デバイスを使用します。Satellite は定期的なネットワーク同期を使用して、クラウドに情報を定期的に送信します。この場合、クラウドに情報を転送する唯一のカスタマーシステムまたはデータベースがSatelliteです。顧客は、コレクタデータベースに何が含まれるのかを制御できるため、より高いセキュリティにつながります。
- ・4番めのオプションは、Satelliteを使用するものの、収集したファイルは月に1回以上手動の同期化を使用して転送します。このモデルでは、システムがクラウドに直接接続されず、カスタマーネットワークとシスコクラウドの間に隙間があります。



スマート アカウントの作成

カスタマースマートアカウントは、スマート対応製品のリポジトリを提供し、シスコのライ センスの管理を可能にします。ライセンスを保存すると、ユーザはライセンスのアクティブ 化、ライセンス使用状況のモニタ、およびシスコからの購入の追跡を行うことができます。ス マートアカウントは、顧客が直接、またはチャネルパートナーまたは承認済みの第三者が管 理できます。すべての顧客は、自分のスマート対応製品のライセンス管理機能をフルに利用す るために、カスタマースマートアカウントを作成する必要があります。カスタマースマート アカウントの作成は、リンク「Training Resources for Customers, Partners, Distributors, B2B」を使 用する1回限りの設定アクティビティです。

カスタマー スマート アカウント要求が送信されてアカウント ドメイン識別子が承認された後 (編集した場合)、作成者は、Cisco Software Central (CSC)でカスタマー スマート アカウン トの設定を完了する必要があることを知らせる電子メールでの通知を受け取ります。

Simplifying the Cis	sco Software Experienc	e		Search Operations Exch	nange
experience. Below, are the tr	raining materials to help Customers a	and Partners learn	BACON_		Find
about the upcoming enhance for your software training nee	ments to the software experience. Ple ds.	ease use this page		All Types	;
Use the drop down menu bel software capabilities.	low to filter through self-paced training	materials and quick refer	ence guides on various	Additional Resource Software Tool Capab	s on bilities
English Chinese 简体中文	Japanese 日本語 Korean 한국어 Po	rtuguese Português Spa	nish Español	Ourrent List of Smart Enabled SKU's	Licensir
See more information on:	Smart Accounts	-		Smart Account Overv System Access	riew and
1-Tier Partner	Distributor(2-Tier Partner)	B2B	End Customer	Register for Live Sma Account & Smart Lice Training Tedard	art ansing
Request Customer Small	art Account rt Account you can request account	and complete the setup	for your company, or you can	Archive Release page	B
request a Smart Account on Account. All Customers nee behalf. In that case, you will	behalf of another person. This is a qued a Customer Smart Account, so Pa only need to complete the Smart Account	uick reference guide on h artners may initiate the S runt Setup.	ow to request Customer Smart mart Account request on your	Get Support	
Quick Reference Guide Rec	quest and Setup Demo	est and Nominate Creator	Demo	Smart Accounts	
Complete Customer Sn	mart Account Setup			General Software	
Quick reference guide on ho	w to complete set up of a Customer Si	mart Account.			
Quick Reference Guide Cor	mplete Setup Demo				
				Social Resources	

Cisco Smart Software Manager

Cisco Smart Software Manager (CSSM) は、一元化された場所からすべてのシスコ ソフトウェ アライセンスを管理できるポータルです。CSSM は、現在の要件を管理し、将来のライセンス 要件を計画するための使用傾向を確認するのに役立ちます。CSSM Web UI には https://software.cisco.com でアクセスできます。[License] タブで、[Smart Software Licensing] のリ ンクをクリックします。

CSSMに接続するためのさまざまな方法については、のセクションを参照してください。CSSM では、次のことができます。

- バーチャルアカウントを作成、管理、または表示する。
- ・製品インスタンスの登録トークンを作成および管理する。
- •バーチャルアカウント間または表示ライセンス間でライセンスを転送する。
- ・製品インスタンスを転送、削除、または表示する。
- バーチャルアカウントに関するレポートを実行する。
- •電子メール通知の設定を変更する。
- 仮想アカウント情報を表示する。

Cisco Smart Software Manager を使用すると、一元化された1つのWebサイトでシスコのスマートソフトウェアライセンスすべてを管理できます。Cisco Smart Software Manager では、仮想アカウントと呼ばれるグループでライセンスを整理および表示します。必要に応じて、Cisco Smart Software Manager を使用して仮想アカウント間でライセンスを転送することができます。

CSSM は、Cisco Software Central ホームページ software.cisco.com の [Smart Licensing] セクショ ンからアクセスできます。

Cisco Smart Software Manager は、上側の [Navigation] ペインとメインの [Work] ペインの 2 つの 主要なセクションに分かれています。

Cisco Software Central > Smart Software Licensing

Smart Software Licensing

Alerts Inventory Conve	ert to Smart Licensing Reports	Preferences On-Pre	em Accounts Activit	у	
Virtual Account: ESA				291 M	ajor 741 Mino
General Licenses	Product Instances Even	t Log			
Virtual Account					
Description:	ESA testing				
Default Virtual Account:	No				
The registration tokens belo	w can be used to register new product	instances to this virtual	account.		
Token	Expiration Date	Uses	Export-Controlled	Description	Cr
NzkzOWU0MzEtZjg4 🛽	2025-Mar-29 08:31:05 (in 362 da…		Allowed	ISE Token - WSA SRTS	br
ZWU2OTQ1NjEtMzA 🛛	2024-Apr-27 16:18:20 (in 27 days)	2 of 100	Allowed	esa-sl	ac
ZTQ3ZGYxNTMtYjlh 💋	2025-Mar-27 12:09:24 (in 361 da…	6 of 100	Allowed		lol
NGZiYjM3ZjAtZGM5 🛛	2024-Apr-27 10:49:07 (in 27 days)	1 of 50	Allowed	BEN-QA	kc
YTQ0OWQyNWQtYjg 💋	2024-Jun-26 07:26:19 (in 86 days)		Allowed		sa
ZjAzMzBjZDEtMTYxN	2024-Apr-27 05:59:07 (in 26 days)	0 of 1	Allowed		sn

[Navigation] ペインを使用して、次の作業を実行できます。

 すべての仮想アカウントのリストから。 	ユーザがアクセスでき	る仮想アカウントを選択す
--	------------	--------------

General Lice		By Name By Tag
Virtual Account	ESA	291 741 107
Description:	ESA1	122
Default Virtual Acc	ESA2	20 139
	ESA3	90
Product Instanc.	e negistiatio	IT TOKONO
The registration tokens	below can be use	d to register new product instances to this virtual a
New Token		

バーチャルアカウントに関するレポートを実行する。

Cisco Software Central >	Smart Software Licensing
--------------------------	--------------------------

S	Smart Software Licensing						
Ale	Alerts Inventory Convert to Smart Licensing Reports Preferences On-Prem Accounts Activity						
Re	eports						
	Report	Usage Data Files	Reporting Policy	Synch File	e for Device Controllers		
	Name				Description		
	Licenses				View License count and u	sage over selected Virtual A	
	Product Ins	stances			View Product Instances a	nd License usage over selec	

I

•電子メール通知の設定を変更する。

Cisco Software Central > Smart Software Licensing

Smart Software	Licensing			
lerts Inventory Convert	to Smart Licensing	Reports Preferences	On-Prem Accounts Ac	stivity
lotifications				
Daily Event Summary				
Receive a daily email summ	ary containing the events	selected below		
Email Address:				
Select Virtual Account:	-	4 selected		•
Alert Events:				
Insufficient Licenses -	Usage in account exceed	ls available licenses		
🗹 Licenses Expiring - Wa	arning that term-limited lic	censes will be expiring.		
90 Days	◯ 60 Days	⊖ 30 Days	◯ 14 Days	⊖ 7 Days
Licenses Expired - Ter	m-limited licenses have e	expired. Only displayed if Lic	censes Expiring warning hav	ve not been dismi
Product Instance Faile	ed to Connect - Product ha	as not successfully connect	ed during its renewal period	

メジャーおよびマイナーのアラートを管理する。

	Cisco Software Central > Smart Software Licensing Smart Software Licensing					
(Alerts	Inven	tory Convert to Smart Licensin	ng Reports F	Preferences On-Prem Accounts Activity	
	Aler	ts				
	A	vailable A	ctions -			
		Sev	Alert Type	Alert Date	Message	
		•				
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Secure Web	Applia
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Secure Web	Applia
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Content Secu	urity N
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Content Secu	urity N
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Content Secu	urity N
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Content Secu	urity N
		8	Insufficient Licenses	2024-Apr-01	The Virtual Account "ESA" has a shortage of Content Secu	urity N

 全体的なアカウントのアクティビティ、ライセンスのトランザクション、およびイベント ログを表示する。 Cisco Software Central > Smart Software Licensing

Smart Software Licensing

Alerts Inventory Convert to Smart Licensing Reports Preferences On-Prem Accounts

ounts Activity

Activity

License Transactions	Event Log Of	ffline Processes			
			Sear	rch by License(SKU), Seria	al Number, Order Number, Virtual ,
Transaction Date	License SKU 🔺	License	Quantity	License Expiration	Virtual Account
2018-Aug-01 11:55:41	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🗖 17	2018-Aug-31 (Term)	ESA
2018-Aug-03 05:38:23	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🖸 1	2019-Jan-02 (Term)	ESA1
2018-Oct-26 10:05:22	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🛛 10	2018-Oct-27 (Term)	ESA1
2018-Aug-22 07:11:58	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🔁 10	2018-Aug-31 (Term)	ESA2
2021-Feb-01 12:33:52	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🔁 133	2022-Jun-25 (Term)	ESA1
2018-Aug-07 05:30:41	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🗖 1	2019-Jan-02 (Term)	ESA3
2018-Aug-30 11:01:21	ESA-AMP-LIC=	Email Security App	. 🖸 10	2018-Nov-28 (Term)	ESA

Cisco Smart Software Manager では、次の Web ブラウザの最新の安定バージョンがサポートされています。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Safari
- Microsoft Edge

(注)

Web ベースの UI にアクセスするには、ブラウザが JavaScript および Cookie をサポートしており、それらの受け入れが有効になっている必要があります。また、Cascading Style Sheet (CSS) を含む HTML ページをレンダリングできる必要があります。

多様なユーザーに対応したスマートライセンス

スマート ソフトウェア ライセンシングを使用すると、電子メールゲートウェイのライセンス をシームレスに管理および監視できます。スマート ソフトウェア ライセンシングをアクティ ブ化するには、Cisco Smart Software Manager (CSSM) で電子メールゲートウェイを登録する必 要があります。CSSMは、購入して使用するすべてのシスコ製品についてライセンスの詳細を 管理する一元化されたデータベースです。スマート ライセンスを使用すると、製品認証キー (PAK)を使用して Web サイトで個別に登録するのではなく、単一のトークンで登録するこ とができます。

電子メールゲートウェイを登録すると、電子メールゲートウェイのライセンスを追跡し、CSSM ポータル経由でライセンスの使用状況を監視できます。電子メールゲートウェイにインストー ルされているスマートエージェントは、アプライアンスとCSSMを接続し、ライセンスの使用 状況に関する情報を CSSM に渡して、CSSM が使用状況を追跡できるようにします。

(注) スマート ライセンス アカウントのスマートアカウント名にサポートされていない Unicode 文字が含まれている場合、電子メールゲートウェイは Cisco Talos サーバーから Cisco Talos 証明書を取得できません。スマートアカウント名には、サポートされている次の文字を使用できます:-a-z A-Z 0-9,.@:&"'/;#?öüÃ、()。

ライセンス予約

Cisco Smart Software Manager (CSSM) ポータルに接続せずに、Eメールゲートウェイで有効に なっている機能のライセンスを予約できます。これは主に、インターネットや外部デバイスと の通信がない高度にセキュリティ保護されたネットワーク環境にEメールゲートウェイを展開 する対象ユーザーにとって有益です。

機能ライセンスは、次のいずれかのモードで予約できます。

- ・[特定ライセンスの予約(SLR) (Specific License Reservation(SLR))]: このモードを使用して、特定の期間の個々の機能(「メール処理」など)のライセンスを予約できます。
- 「永久ライセンスの予約(PLR) (Permanent License Reservation)]:このモードを使用して、すべての機能のライセンスを永久に予約できます。

Eメールゲートウェイでライセンスを予約する方法の詳細については、機能ライセンスの予約 (21 ページ)を参照してください。

機器先行ライセンス変換機能

Eメールゲートウェイをスマートライセンスに登録すると、既存のすべての有効なクラシック ライセンスは、Device Led Conversion (DLC) プロセスを使用して、スマートライセンスに自 動的に変換されます。これらの変換されたライセンスは、CSSMポータルのバーチャルアカウ ントで更新されます。



Cisco Smart Software Manager の対象ユーザーアカウントの作成または Cisco Smart Software Manager サテライトのインストールの詳細については、Cisco Smart Software Manager (4 ページ)を参照してください。



(注) 対象ユーザーとは、インターネットに接続している従業員、再委 託先、および電子メールゲートウェイの展開(オンプレミスまた はクラウドのいずれか該当する方)の対象となるその他の承認さ れた個人の総数です。

ライセンスの使用状況に関する情報を直接インターネットに送信したくない対象ユーザー の場合、CSSM 機能のサブセットを提供する Smart Software Manager サテライトをオンプ レミスにインストールすることもできます。サテライトアプリケーションをダウンロード して導入した後は、インターネットを使用してCSSMにデータを送信せずに、ライセンス をローカルで安全に管理できます。CSSMサテライトは、情報をクラウドに定期的に送信 します。



- (注) Smart Software Manager サテライトを使用する場合、Smart Software Manager サテライト Enhanced Edition 6.1.0 を使用してください。
 - (従来の) クラシックライセンスの既存ユーザーは、クラシックライセンスをスマートラ イセンスに移行する必要があります。

https://video.cisco.com/detail/video/6330894176112を参照してください。

電子メールゲートウェイのシステムクロックをCSSMのシステムクロックと同期させる必要があります。電子メールゲートウェイのシステムクロックとCSSMのシステムクロックのずれは、スマートライセンス操作の失敗の原因となります。

(注) インターネットに接続してプロキシ経由で CSSM に接続する場合、[セキュリティサービス (Security Services)]->[サービスのアップデート (Service updates)]を使用して、電子メール ゲートウェイに設定されているプロキシと同じプロキシを使用する必要があります。

Ŋ

(注) スマート ソフトウェア ライセンシングを有効にすると、クラシックライセンスに戻すことはできません。クラシックライセンスに戻す唯一の方法は、電子メールゲートウェイまたは電子メールおよび Web マネージャを完全に元に戻すか、リセットすることです。ご質問やご不明な点がございましたら、Cisco TAC までお問い合せください。

(注) [セキュリティサービス (Security Services)]>[サービスのアップデート (Service updates)] ページでプロキシを設定する場合は、入力するユーザー名にドメインまたはレルムが含まれて いないことを確認しください。たとえば、[ユーザー名 (Username)]フィールドには、ドメ イン/ユーザー名ではなくユーザー名のみを入力します。



(注) 仮想対象ユーザーの場合、新しい PAK ファイル(新規または更新)を受信するたびに、ライ センスファイルを生成し、電子メールゲートウェイのファイルをロードします。ファイルを ロードした後は、PAK をスマート ライセンスに変換する必要があります。スマート ライセン スモードでは、ファイルのロード中、ライセンスファイルの機能キーセクションは無視され、 証明書情報のみが使用されます。

(注) すでに Cisco XDR アカウントをお持ちの場合は、まず電子メールゲートウェイを Cisco XDR に登録してから、電子メールゲートウェイでスマートライセンスモードを有効にしてください。

電子メールゲートウェイに対してスマート ソフトウェア ライセンシングを有効にするには、 次の手順を実行する必要があります。

スマート ソフトウェア ライセンシング:新規ユーザー

スマート ソフトウェア ライセンシングを初めて使用する場合は、次の手順を実行してスマー ト ソフトウェア ライセンシングをアクティブ化する必要があります。

	操作内容	詳細情報
ステップ 1	スマート ソフトウェア ライセ ンシングの有効化	スマートソフトウェアライセ ンシングのイネーブル化 (17 ページ)
ステップ 2	Cisco Smart Software Manager への Cisco Secure Email Gateway の登録	Cisco Smart Software Manager で の電子メールゲートウェイの 登録 (18 ページ)
ステップ 3	ライセンス(機能キー)の要 求	ライセンスの要求 (19 ペー ジ)

クラシックライセンスからスマート ソフトウェア ライセンシングへ の移行:既存ユーザー

クラシック ライセンスからスマート ソフトウェア ライセンシングに移行する場合は、次の手順を実行してスマート ソフトウェア ライセンシングをアクティブ化する必要があります。

	操作内容	詳細情報
ステップ1	スマート ソフトウェア ライセ ンシングの有効化	スマートソフトウェアライセ ンシングのイネーブル化 (17 ページ)
ステップ 2	Cisco Smart Software Manager への Cisco Secure Email Gateway の登録	Cisco Smart Software Manager で の電子メールゲートウェイの 登録 (18 ページ)
ステップ 3	ライセンス(機能キー)の要 求	ライセンスの要求 (19 ペー ジ)

注: Cisco Secure Email Gateway をスマート ソフトウェア ライセンシングに登録すると、既存 の有効なクラシックライセンスはすべて、Device Led Conversion (DLC) プロセスを使用して 自動的にスマートライセンスに変換されます。詳細については、多様なユーザーに対応したス マートライセンス (10 ページ) の「Device Led Conversion」を参照してください。

エアギャップモードでのスマート ソフトウェア ライセンシング:新 規ユーザー

エアギャップモードで動作する Cisco Secure Email Gateway を使用していて、スマート ソフト ウェア ライセンシングを初めてアクティブ化する場合は、次の手順を実行する必要がありま す。

	操作内容	詳細情報
ステップ 1	スマート ソフトウェア ライセ ンシングの有効化	スマートソフトウェアライセ ンシングのイネーブル化 (17 ページ)
ステップ 2(AsyncOS 15.5 以 降でのみ必要)	初めてエアギャップモードで Cisco Secure Email Gateway を 登録するための VLN、証明 書、およびキーの詳細の取得 と使用	エアギャップモードで Cisco Secure Email Gateway を登録す るための VLN、証明書、およ びキーの詳細の取得と使用 (15 ページ)
ステップ 3	ライセンス(機能キー)の要 求	ライセンスの要求 (19 ペー ジ)

エアギャップモードでのスマート ソフトウェア ライセンシング : 既 存ユーザー

エアギャップモードで動作する Cisco Secure Email Gateway を使用している場合、次の手順を実行してスマート ソフトウェア ライセンシングをアクティブ化する必要があります。

	操作内容	詳細情報
ステップ 1	スマート ソフトウェア ライセ ンシングの有効化	スマート ソフトウェア ライセ ンシングのイネーブル化 (17 ページ)
ステップ 2(AsyncOS 15.5 以 降でのみ必要)	エアギャップモードで動作し ている Cisco Secure Email Gateway のライセンス予約へ の登録	エアギャップモードで Cisco Secure Email Gateway を登録す るための VLN、証明書、およ びキーの詳細の取得と使用 (15 ページ)
ステップ 3	ライセンス(機能キー)の要 求	ライセンスの要求 (19 ペー ジ)

エアギャップモードで Cisco Secure Email Gateway を登録 するための VLN、証明書、およびキーの詳細の取得と使 用

VLN、証明書、およびキーの詳細を取得し、これらの詳細を使用して、エアギャップモードで 動作している仮想の Cisco Secure Email Gateway を登録するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1	エアギャップモード以外で動作している仮想の Cisco Secure Email Gateway を登録します。仮想
	の Cisco Secure Email Gateway の登録方法については、Cisco Smart Software Manager での電子
	メールゲートウェイの登録 (18 ページ) を参照してください。

ステップ2 CLI で vlninfo コマンドを入力します。このコマンドによって、VLN、証明書、キーの詳細が 表示されます。これらの詳細をコピーし、後で使用するために保持します。

(注)

vlninfo コマンドは、スマート ライセンシング モードで使用できます。vlninfo コマンドの詳 細については、『*CLI Reference Guide for AsyncOS for Cisco Secure Email Gateway*』を参照してく ださい。

- **ステップ3** エアギャップモードで動作している仮想の Cisco Secure Email Gateway をライセンス予約に登録 します。ライセンス予約に仮想の Cisco Secure Email Gateway を登録する方法の詳細について は、機能ライセンスの予約(21ページ)を参照してください。
- ステップ4 CLI で updateconfig -> VLNID サブコマンドを入力します。
- ステップ5 VLN の入力を求められたら、(手順2で)コピーした VLN を貼り付けます。

(注)

updateconfig->VLNIDサブコマンドは、ライセンス予約モードでのみ使用できます。updateconfig ->VLNIDサブコマンドの使用方法の詳細については、『*CLI Reference Guide for AsyncOS for Cisco Secure Email Gateway*』を参照してください。

(注)

VLNID サブコマンドを使用して、VLNID を追加または更新できます。誤った VLN を入力した 場合は、更新オプションを使用して VLN を修正できます。

- ステップ6 CLI で CLIENTCERTIFICATE コマンドを入力します。
- ステップ7 詳細を入力するように求められたら、(手順2で)コピーした証明書とキーの詳細を貼り付け ます。

トークンの作成

製品を登録するには、トークンが必要です。登録トークンは、スマートアカウントに関連付け られた製品インスタンス登録トークンテーブルに格納されます。製品を登録すると、登録トー クンは不要になるため、そのテーブルから取り消したり、削除したりすることができます。登 録トークンの有効日数は、1~365日間に設定できます。

手順

ステップ1 仮想アカウントの [General] タブで、[New Token] をクリックします。

Sisco Software Central > Smart S	Create Registration Token This will create a token that is used to register product instances, so that they can use licenses from this virtual account.Once it's created, go to the Smart Licensing configuration for your products and enter the token, to register them with this virtual account.		that they can use licenses from this virtual account. Once it's and enter the token, to register them with this virtual account.	×
	Virtual Account:	ESA		
lerts Inventory Convert to	Description:	Description]
/irtual Account: ESA -	* Expire After:	30	Days	
General Licenses	Max. Number of Uses:	Between 1 - 365, 30 days reco	mmended	
Virtual Account Description:	The token will be expired when either the expiration or the maximum uses is reached Allow export-controlled functionality on the products registered with this token 1			
Default Virtual Account:			Create Token Cance	el 🛛
Product Instance Regis	tration lokens			

ステップ2 [Create Registration Token] ダイアログボックスに、説明とトークンの有効日数を入力します。
 エクスポート制御機能に関するチェックボックスをオンにし、条件および責任に同意します。
 ステップ3 [Create Token] をクリックしてトークンを作成します。

ステップ4 トークンが作成されたら、[Copy]をクリックして新しく作成されたトークンをコピーします。

スマート ソフトウェア ライセンシングのイネーブル化

手順

- ステップ1 [システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)]を選択します。
- ステップ2 [スマート ソフトウェア ライセンシングの有効化 (Enable Smart Software Licensing)]をクリッ クします。

スマート ソフトウェア ライセンシングの詳細については、スマート ソフトウェア ライセンシ ングの詳細のリンクをクリックします。

ステップ3 スマート ソフトウェア ライセンシングについての情報を読んだ後、[OK] をクリックします。 ステップ4 変更を保存します。

次のタスク

スマート ソフトウェア ライセンシングを有効すると、クラシック ライセンス モードのすべて の機能がスマート ライセンス モードでも自動的に使用可能になります。 クラシックライセン スモードの既存対象ユーザーの場合、CSSMで電子メールゲートウェイを登録せずに、スマー ト ソフトウェア ライセンシング機能を使用できる 90 日間の評価期間があります。

有効期限および評価期間の期限の前に、一定の間隔(90日前、60日前、30日前、15日前、5 日前、および最終日) で通知が表示されます。評価期間の間または終了後に、CSSM で電子 メールゲートウェイを登録できます。



(注) クラシックライセンスモードにおけるアクティブなライセンスを持たない仮想電子メールゲー トウェイの対象ユーザーの場合、スマートソフトウェアライセンシング機能を有効にしても、 評価期間は提供されません。クラシックライセンスモードにおけるアクティブなライセンスを 持つ既存の仮想電子メールゲートウェイの対象ユーザーのみに、評価期間が提供されます。新 規の仮想電子メールゲートウェイの対象ユーザーがスマートライセンス機能の評価を希望する 場合には、シスコのセールスチームに連絡し、スマートアカウントに評価ライセンスを追加し てください。評価ライセンスは、登録後に評価目的で使用されます。



(注)

電子メールゲートウェイでスマートライセンス機能を有効にすると、スマートライセンスから クラシックライセンスモードにロールバックできなくなります。

Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェ イの登録

電子メールゲートウェイを Cisco Smart Software Manager に登録するには、[システム管理(System Administration)]メニューでスマートソフトウェアライセンシング機能を有効にする必要があります。

手順

- ステップ1 Eメールゲートウェイで[システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアラ イセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- ステップ2 [スマートライセンスの登録 (Smart License Registration)]オプションを選択します。
- ステップ3 [確認 (Confirm)]をクリックします。
- **ステップ4** [トランスポート設定(Transport Settings)]を変更する場合には、[編集(Edit)]をクリックします。次のオプションを使用できます。
 - [直接(Direct)]:電子メールゲートウェイを HTTPS 経由で Cisco Smart Software Manager に直接接続します。このオプションは、デフォルトで選択されます。
 - 「トランスポートゲートウェイ(Transport Gateway)]:電子メールゲートウェイをトランスポートゲートウェイまたはSmart Software Manager サテライト経由でCisco Smart Software Manager に接続します。このオプションを選択した場合、トランスポートゲートウェイまたはSmart Software Manager サテライトのURLを入力してから[OK]をクリックする必要があります。このオプションはHTTP および HTTPS をサポートします。FIPS モードの場合、トランスポートゲートウェイはHTTPSのみをサポートします。

ログイン クレデンシャルを使用して、Cisco Smart Software Manager ポータル

(https://software.cisco.com/) にアクセスします。新しいトークンを作成するには、このポー タルの[仮想アカウント(Virtual Account)]ページに移動して[全般(General)]タブにア クセスします。電子メールゲートウェイ用の製品インスタンス登録トークンをコピーしま す。

製品インスタンス登録トークンの作成については、トークンの作成 (16 ページ)を参照 してください。

- ステップ5 電子メールゲートウェイに戻り、製品インスタンス登録トークンを貼り付けます。
- ステップ6 [登録 (Register)]をクリックします。
- **ステップ7** [スマートソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)]ページで、[すでに登録さ れている場合は、この製品インスタンスを再登録します (Reregister this product instance if it is already registered)]チェックボックスをオンにして、電子メールゲートウェイを再登録するこ

ともできます。Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェイの再登録 (20ページ)を参照してください。

次のタスク

製品登録プロセスには数分かかります。[スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)]ページで登録ステータスを表示できます。

______ (注)

スマート ソフトウェア ライセンシングを有効にし、電子メールゲートウェイを Cisco Smart Software Manager に登録すると、Cisco Cloud Services ポータルが自動的に有効になり、電子メー ルゲートウェイに登録されます。

ライセンスの要求

登録プロセスが正常に完了した後、電子メールゲートウェイの機能のライセンスを要求しなけ ればならない場合があります。

(注) ライセンス予約モード(エアギャップモード)では、ライセンストークンを電子メールゲート ウェイに適用する前にライセンスを要求する必要があります。

手順

- ステップ1 [システム管理(System Administration)]>[ライセンス(Licenses)]を選択します。
- ステップ2 [設定の編集(Edit Settings)]をクリックします。
- ステップ3 要求するライセンスに対応する [ライセンスの要求/リリース(License Request/Release)] 列の チェック ボックスをオンにします。
- ステップ4 [送信 (Submit)]をクリックします。

(注)

デフォルトでは、メール処理と Cisco Secure Email Gateway のバウンス検証のライセンスを利用 できます。これらのライセンスは、有効化、無効化、またはリリースすることができません。

メール処理と Cisco Secure Email Gateway のバウンス検証のライセンスに評価期間やコンプライアンス違反はありません。これは、仮想電子メールゲートウェイには適用されません。

次のタスク

ライセンスは、期限超過また期限切れになるとコンプライアンス違反(OOC)モードになり、 各ライセンスに30日間の猶予期間が提供されます。有効期限およびOOC猶予期間の期限の前 に、一定の間隔(30日前、15日前、5日前、および最終日)で通知が表示されます。

OOC 猶予期間の有効期限が過ぎると、ライセンスは使用できず、機能を利用できなくなりま す。機能にもう一度アクセスするには、CSSMポータルでライセンスをアップデートして、認 証を更新する必要があります。

Cisco Smart Software Managerからの電子メールゲートウェ イの登録解除

手順

- ステップ1 [システム管理(System Administration)]>[スマートソフトウェアライセンシング(Smart Software Licensing)]を選択します。
- ステップ2 [アクション (Action)] ドロップダウン リストから、[登録解除 (Deregister)]を選択し、[実行 (Go)]をクリックします。
- ステップ3 [送信(Submit)] をクリックします。

Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェ

イの再登録

手順

- ステップ1 [システム管理(System Administration)]>[スマートソフトウェアライセンシング(Smart Software Licensing)]を選択します。
- ステップ2 [アクション (Action)]ドロップダウンリストから、[登録 (Register)]を選択し、[実行 (Go)] をクリックします。

次のタスク

登録プロセスについては、Cisco Smart Software Manager での電子メールゲートウェイの登録 (18 ページ) を参照してください。 回避できないシナリオにおいては、電子メールゲートウェイの設定をリセットした後に電子 メールゲートウェイを登録することができます。

転送設定の変更

CSSMで電子メールゲートウェイを登録する前にのみ、トランスポート設定を変更できます。

(注) スマートライセンス機能が有効になっている場合にのみ、トランスポート設定を変更できます。電子メールゲートウェイがすでに登録されている場合、トランスポート設定を変更するには、電子メールゲートウェイの登録を解除する必要があります。トランスポート設定を変更した後に、電子メールゲートウェイを再登録する必要があります。

トランスポート設定を変更する方法については、Cisco Smart Software Manager での電子メール ゲートウェイの登録(18ページ)を参照してください。

認証と証明書の更新

Cisco Smart Software Manager で電子メールゲートウェイを登録した後に、証明書を更新できます。

(注) 電子メールゲートウェイが正常に登録された後にのみ、認証を更新できます。

手順

- ステップ1 [システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)]を選択します。
- ステップ2 [アクション(Action)] ドロップダウン リストから、適切なオプションを選択します。
 - 認証を今すぐ更新
 - 証明書を今すぐ更新

ステップ3 [移動(Go)]をクリックします。

機能ライセンスの予約

• ライセンス予約の有効化 (22ページ)

- ・ライセンス予約の登録 (23ページ)
- ・ライセンス予約の更新 (24ページ)
- ・ライセンス予約の削除(26ページ)
- ライセンス予約の無効化(27ページ)

ライセンス予約の有効化

始める前に

Eメールゲートウェイでスマートライセシングモードがすでに有効になっていることを確認し ます。

(注)

CLIでlicense_smart>enable_reservation サブコマンドを使用して、機能ライセンスを有効 にすることもできます。詳細については、CLIリファレンスガイドの「The Commands: Reference Examples」の章の「Smart Software Licensing」セクションを参照してください。

手順

- **ステップ1** Eメールゲートウェイで[システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアラ イセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- ステップ2 [特定/永久ライセンス予約 (Specific/Permanent License Reservation)]オプションを選択します。
- ステップ3 [確認 (Confirm)]をクリックします。

ライセンス予約(SLR または PLR)がEメールゲートウェイで有効になります。

次のタスク

- ・ライセンス予約の登録が必要です。詳細については、「ライセンス予約の登録(23ページ)」を参照してください。
- ・必要に応じて、Eメールゲートウェイでライセンス予約を無効にすることができます。詳細については、ライセンス予約の無効化(27ページ)を参照してください。

ライセンス予約の登録

始める前に

必要なライセンス予約(SLR または PLR)が E メールゲートウェイで有効になっていることを確認します。

(注) CLIでlicense_smart>request_codeおよびlicense_smart>install_authorization_code サブ コマンドを使用して、機能ライセンスを登録することもできます。詳細については、CLIリ ファレンスガイドの「The Commands: Reference Examples」の章の「Smart Software Licensing」 セクションを参照してください。

手順

- ステップ1 Eメールゲートウェイで[システム管理 (System Administration)]>[スマート ソフトウェア ラ イセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- ステップ2 [登録(Register)] をクリックします。
- ステップ3 [コードをコピー (Copy Code)]をクリックして、リクエストコードをコピーします。
 - (注)

承認コードを生成するには、リクエストコードをCSSMポータルで使用する必要があります。 (注)

認証コードをインストールする必要があることを示すシステムアラートが24時間ごとに送信 されます。

ステップ4 [Next] をクリックします。

(注)

[キャンセル (Cancel)]ボタンをクリックすると、リクエストコードがキャンセルされます。 電子メールゲートウェイに認証コード (CSSMポータルで生成)をインストールすることはで きません。電子メールゲートウェイでリクエストコードがキャンセルされた後、予約済みライ センスを削除するには、Cisco TAC にお問い合わせください。

ステップ5 CSSMポータルに移動して、特定の機能またはすべての機能のライセンスを予約するための承認コードを生成します。

(注)

承認コードの生成方法の詳細については、スマート ソフトウェア ライセンシング オンライン $\sim \nu \tau$ (cisco.com) にある $\sim \nu \tau$ ドキュメントの Inventory: License Tab > Reserve Licenses セク ションを参照してください。

ステップ6 次のいずれかの方法で、CSSM ポータルから取得した承認コードをEメールゲートウェイに貼り付けます。

- 「承認コードをコピーして貼り付ける (Copy and Paste authorization code)]オプションを選択し、[承認コードをコピーして貼り付ける (Copy and Paste authorization code)]オプションの下のテキストボックスに承認コードを貼り付けます。
- 「システムから承認コードをアップロード(Upload authorization code from the system)]オプションを選択し、[ファイルの選択(Choose File)]をクリックして承認コードをアップロードします。
- ステップ7 [承認コードをインストール (Install Authorization Code)]をクリックします。

(注)

認証コードをインストールすると、スマートエージェントがライセンス予約を正常にインス トールしたことを示すシステムアラートを受け取ります。

必要なライセンス予約(SLRまたはPLR)がEメールゲートウェイに登録されています。SLR では、予約済みのライセンスのみが[コンプライアンスで予約済み(Reserved in Compliance)] 状態に移行します。PLRの場合、電子メールゲートウェイのすべてのライセンスが[コンプラ イアンスで予約済み(Reserved in Compliance)]状態に移行します。

(注) [コンプライアンスで予約済み(Reserved In Compliance)]状態は、電子メールゲートウェイが ライセンスの使用を許可されていることを示します。

次のタスク

- (SLRのみに適用):必要に応じて、ライセンス予約を更新できます。詳細については、 ライセンス予約の更新 (24 ページ)を参照してください。
- (SLR および PLR に適用):必要に応じて、ライセンス予約を削除できます。詳細については、ライセンス予約の削除(26ページ)を参照してください。
- •Eメールゲートウェイでライセンス予約を無効にすることができます。詳細については、 ライセンス予約の無効化(27ページ)を参照してください。

ライセンス予約の更新

新しい機能のライセンスを予約したり、機能の既存のライセンス予約を変更したりできます。

(注) 特定ライセンス予約のみを更新でき、永久ライセンス予約は更新できません。



(注) CLIでlicense_smart > reauthorize サブコマンドを使用して、ライセンス予約を更新すること もできます。詳細については、CLIリファレンスガイドの「The Commands: Reference Examples」 の章の「Smart Software Licensing」セクションを参照してください。

手順

ステップ1 CSSMポータルに移動して、すでに予約済みのライセンスを更新するための承認コードを生成 します。

(注)

承認コードの生成方法の詳細については、スマート ソフトウェア ライセンシング オンライン ヘルプ (cisco.com) にあるヘルプドキュメントの Inventory: Product Instances Tab > Update Reserved Licenses セクションを参照してください。

- ステップ2 CSSM ポータルから取得した承認コードをコピーします。
- ステップ3 Eメールゲートウェイで[システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアラ イセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- **ステップ4** [アクション(Action)] ドロップダウンリストから [再承認(Reauthorize)] を選択し、[実行 (GO)]をクリックします。
- ステップ5 次のいずれかの方法で、CSSM ポータルから取得した承認コードをEメールゲートウェイに貼り付けます。
 - 「承認コードをコピーして貼り付ける(Copy and Paste authorization code)]オプションを選択し、「承認コードをコピーして貼り付ける(Copy and Paste authorization code)]オプションの下のテキストボックスに承認コードを貼り付けます。
 - 「システムから承認コードをアップロード(Upload authorization code from the system)]オプションを選択し、[ファイルの選択(Choose File)]をクリックして承認コードをアップロードします。
- ステップ6 [再承認 (Re-authorize)]をクリックします。
- ステップ7 [コードをコピー (Copy Code)]をクリックして、確認コードをコピーします。

(注)

ライセンス予約を更新するには、CSSM ポータルに確認コードを使用する必要があります。

- ステップ8 [OK] をクリックします。
- ステップ9 Eメールゲートウェイから取得した確認コードを CSSM ポータルに追加します。

(注)

確認コードの追加方法の詳細については、スマート ソフトウェア ライセンシング オンライン ヘルプ (cisco.com) にあるヘルプドキュメントの Inventory: Product Instances Tab > Update Reserved Licenses セクションを参照してください。

ライセンス予約が更新されます。予約済みライセンスは、[コンプライアンスで予約済み (Reserved in Compliance)]状態に移行します。予約されていないライセンスは[未承認(Not Authorized)]状態に移行します。

(注) [未承認(Not Authorized)]状態は、電子メールゲートウェイが機能ライセンスを予約していないことを示します。

次のタスク

- (SLR および PLR に適用):必要に応じて、ライセンス予約を削除できます。詳細については、ライセンス予約の削除(26ページ)を参照してください。
- •Eメールゲートウェイでライセンス予約を無効にすることができます。詳細については、 ライセンス予約の無効化 (27ページ)を参照してください。

ライセンス予約の削除

Eメールゲートウェイで有効になっている特定のライセンス予約または永久ライセンスの予約 を削除できます。



(注) CLI で license_smart > return_reservation サブコマンドを使用して、ライセンスの予約を削除することもできます。詳細については、CLIリファレンスガイドの「The Commands: Reference Examples」の章の「Smart Software Licensing」セクションを参照してください。

手順

- **ステップ1** Eメールゲートウェイで[システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアラ イセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- ステップ2 [アクション (Action)]ドロップダウンリストから[リターンコード (Return code)]を選択し、 [実行 (GO)]をクリックします。

ステップ3 [コードをコピー (Copy Code)]をクリックして、リターンコードをコピーします。

(注) ライセンス予約を削除するには、CSSM ポータルにリターンコードを使用する必要がありま す。 (注)

スマートエージェントが製品のリターンコードを正常に生成したことを示すアラートがユー ザーに送信されます。

- **ステップ4** [OK] をクリックします。
- ステップ5 Eメールゲートウェイから取得したリターンコードを CSSM ポータルに追加します。

(注)

リターンコードの追加方法の詳細については、スマート ソフトウェア ライセンス オンライン ヘルプ (cisco.com) にあるヘルプドキュメントの Inventory: Product Instances Tab > Removing a Product Instance セクションを参照してください。

電子メールゲートウェイで予約されているライセンスは削除され、評価期間に移行します。

(注) 認証コードをすでにインストールし、ライセンス予約を有効にしている場合、デバイスは有効 なライセンスを持つ「登録済み」状態に自動的に移行します。

ライセンス予約の無効化

Eメールゲートウェイでライセンス予約を無効にすることができます。



(注) CLIでlicense_smart>disable_reservation サブコマンドを使用して、ライセンス予約を無効にすることもできます。詳細については、CLIリファレンスガイドの「The Commands: Reference Examples」の章の「Smart Software Licensing」セクションを参照してください。

手順

- ステップ1 Eメールゲートウェイで[システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアラ イセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- ステップ2 [登録モード (Registration Mode)]フィールドで [タイプの変更 (Change Type)]をクリックします。
- **ステップ3**[登録モードの変更(Change registration mode)]ダイアログボックスで[送信(Submit)]をク リックします。

(注)

- リクエストコードを生成し、ライセンス予約を無効にすると、生成されたリクエストコードは自動的にキャンセルされます。
- 認証コードをインストールしてライセンス予約を無効にすると、予約されたライセンスは 電子メールゲートウェイに保持されます。

・認証コードがインストールされていて、スマートエージェントが[承認済み(Authorized)] 状態である場合、「不明」(有効)状態に戻ります。

Eメールゲートウェイでライセンス予約が無効になります。

アラート

次のシナリオで通知が送信されます。

- •スマート ソフトウェア ライセンシングが正常に有効化された
- •スマート ソフトウェア ライセンシングの有効化に失敗した
- ・評価期間が開始された
- ・評価期間が終了した(評価期間中および期間終了時に一定の間隔で送信)
- •正常に登録された
- ・登録に失敗した
- •正常に認証された
- ・認証に失敗した
- •正常に登録解除された
- 登録解除に失敗した
- ID 証明書が正常に更新された
- ID 証明書の更新に失敗した
- ・認証の有効期限が切れた
- ID 証明書の有効期限が切れた
- ・コンプライアンス違反猶予期間の期限が切れた(コンプライアンス違反猶予期間中および 期間終了時に一定の間隔で送信)
- ・機能の有効期限に関する最初のインスタンスが発生した
- [SLR および PLR のみに適用(Applicable for SLR and PLR only)]: リクエストコードの生 成後に認証コードがインストールされます。
- [SLR および PLR のみに適用(Applicable for SLR and PLR only)]: 認証コードがインストー ルされます。
- [SLR および PLR のみに適用 (Applicable for SLR and PLR only)]: リターンコードが正常 に生成されました。

- [SLR のみに適用(Applicable for SLR only)]:特定の機能ライセンスの予約が期限切れで す。
- [SLR のみに適用(Applicable for SLR only)]:予約されている特定の機能ライセンスの有効期限が切れる前に送信されるアラートの頻度。

スマート エージェントの更新

電子メールゲートウェイにインストールされているスマートエージェントのバージョンを更新 するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1 [システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)]を選択します。
- ステップ2 [スマートエージェントの更新ステータス(Smart Agent Update Status)] セクションで、[今す ぐ更新(Update Now)] をクリックし、プロセスに従います。

(注)

CLI コマンド saveconfig を使用して、または [システム管理 (System Administration)]>[設 定サマリー (Configuration Summary)]を使用して Web インターフェイス経由で設定変更を 保存しようとすると、スマート ライセンス関連の設定は保存されません。

クラスタ モードでのスマート ライセンス

クラスタ構成では、スマート ソフトウェア ライセンシングを有効にして、すべてのマシンを 同時に Cisco Smart Software Manager に登録できます。

手順:

- 1. ログインしている電子メールゲートウェイでクラスタモードからマシンモードに切り替え ます。
- [システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェアライセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- 3. [有効(Enable)]をクリックします。
- **4.** [クラスタ内のすべてのマシンでスマートソフトウェアライセンシングを有効にする(Enable Smart Software Licensing on all machines in the cluster)] チェックボックスをオンにします。
- 5. [OK] をクリックします。

- **6.** [クラスタ内のマシン全体でスマートソフトウェアライセンシングを登録する(Register Smart Software Licensing across machines in cluster)] チェックボックスをオンにします。
- 7. [登録 (Register)] をクリックします。

(注)

CLI で license_smart コマンドを使用して、スマート ソフトウェア ライセンシングを有効にし てすべてのマシンを同時に Cisco Smart Software Manager に登録できます。



(注) スマートライセンス機能のクラスタ管理は、マシンモードのみで利用できます。クラスタモードでのスマートライセンスでは、任意のアプライアンスにログインしてスマートライセンスを設定できます。電子メールゲートウェイにログインし、クラスタの他の電子メールゲートウェイに1つずつアクセスして、最初の電子メールゲートウェイからログオフすることなくスマートライセンス機能を設定できます。

(注) クラスタ構成では、スマート ソフトウェア ライセンシングを有効にして、すべてのマシンを 個別に Cisco Smart Software Manager に登録することもできます。クラスタモードでのスマート ライセンスでは、任意の電子メールゲートウェイにログインしてスマートライセンス機能を設 定できます。電子メールゲートウェイにログインし、クラスタの他の電子メールゲートウェイ に1つずつアクセスして、最初の電子メールゲートウェイからログオフすることなくスマート ライセンス機能を設定できます。

詳細については、『User Guide for AsyncOS for Cisco Secure Email Gateway』の「Centralized Management Using Clusters」の章 [英語] を参照してください。

クラスタモードでのライセンス予約の有効化

クラスタ内の全マシンのライセンス予約を有効にすることができます。

(注)

CLI で license_smart > enable_reservation サブコマンドを使用して、クラスタ内の全マシン のライセンス予約を有効にすることもできます。詳細については、CLI リファレンスガイドの 「The Commands: Reference Examples」の章の「Smart Software Licensing」セクションを参照し てください。

手順

- **ステップ1** ログインしている電子メールゲートウェイでクラスタモードからマシンモードに切り替えます。
- **ステップ2** ログインしている E メールゲートウェイで [システム管理(System Administration)] > [スマート ソフトウェア ライセンシング(Smart Software Licensing)] ページに移動します。
- ステップ3 [特定/永久ライセンス予約 (Specific/Permanent License Reservation)]オプションを選択します。
- ステップ4 [クラスタ内の全マシンのライセンス予約を有効化 (Enable license reservation for all machines in the cluster)] チェックボックスをオンにします。
- **ステップ5** [確認 (Confirm)] をクリックします。 クラスタ内の全マシンのライセンス予約が有効になります。
- **ステップ6** ライセンス予約の登録 (23ページ)の手順を参照して、ログインした E メールゲートウェイ の機能ライセンスを予約します。
- **ステップ7** (オプション) クラスタ内の他の全マシンについて、ステップ6を繰り返します。

次のタスク

• (SLRのみに適用):必要に応じて、クラスタ内の全マシンのライセンス予約を更新できます。詳細については、ライセンス予約の更新(24ページ)を参照してください。

クラスタモードでのライセンス予約の無効化

クラスタ内の全マシンのライセンス予約を無効にすることができます。



(注) CLI で license_smart > disable_reservation サブコマンドを使用して、クラスタ内の全マシンのライセンス予約を無効にすることもできます。詳細については、CLIリファレンスガイドの「The Commands: Reference Examples」の章の「Smart Software Licensing」セクションを参照してください。

手順

- **ステップ1** ログインしている E メールゲートウェイで [システム管理 (System Administration)]>[スマートソフトウェア ライセンシング (Smart Software Licensing)]ページに移動します。
- ステップ2 [クラスタ内の全マシンのライセンス予約を無効化 (Disable license reservation for all machines in the cluster)] チェックボックスをオンにします。

I

- **ステップ3** [登録モード (Registration Mode)]フィールドで[タイプの変更 (Change Type)]をクリックします。
- **ステップ4**[登録モードの変更(Change registration mode)]ダイアログボックスで[送信(Submit)]をクリックします。

クラスタ内の全マシンのライセンス予約が無効になります。

参照

製品	参照先			
Cisco Smart Software Manager	https://software.cisco.com/			
Cisco Smart Software Licensing	https://www.cisco.com/c/en_my/products/software/ smart-accounts/software-licensing.html			
Cisco Software Licensing Guide	https://www.cisco.com/c/en/us/buy/licensing/ licensing-guide.html			
シスコのスマート ライセンス サポー トの FAQ	https://www.cisco.com/c/en/us/support/licensing/ licensing-support.html			
シスコのスマートアカウント	http://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts.html			
User Guide for AsyncOS for Cisco Secure Email Gateway	https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/ email-security-appliance/products-user-guide-list.html			
CLI Reference Guide for AsyncOS for Cisco Secure Email Gateway	https://www.cisco.com/c/en/us/support/security/ email-security-appliance/ products-command-reference-list.html			
シスコのプライバシーとセキュリティ のコンプライアンス	http://www.cisco.com/web/about/doing_business/legal/ privacy_compliance/index.html			
Cisco Transport Gateway User Guide	http://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/switches/lan/ smart_call_home/user_guides/SCH_Ch4.pdf			

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。